

伊勢原市協働事業提案書

令和2年4月1日



伊勢原市長 殿

住 所 伊勢原市日向450-2
団体名 NPO 法人 生活文化ルネ
代表者氏名 原 田 雅 顕



伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第6条の規定により、次のとおり提案します。

提案区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
協働事業名	日向・里地里山づくりプロジェクト —花でつなぐ人と人—
添付資料	(1) 団体概要（第2号様式） (2) 協働事業実施計画書（第3号様式） (3) 協働事業収支予算書（第4号様式） (4) 規則、定款、規約、会則その他これに準ずるものの写し (5) 会員、構成員の名簿の写し (6) 前年度の活動報告書及び収支決算書の写し

団 体 概 要

令和2年4月1日現在

団 体 名	NPO法人生活文化ルネッサンス	
所 在 地	[REDACTED]	
代 表 者	理事長 原 田 雅 顕	
設 立 年 月	平成27年 6月	
会員の状況	会員 16人 (うち伊勢原市民 12人)	
業 務 内 容	① 社会教育の推進を図る活動 ② まちづくりの推進を図る活動 ③ 観光の振興を図る活動 ④ 中山間地域の振興を図る活動 ⑤ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 ⑥ 子どもの健全育成を図る活動	
主な公益活動 の 実 績	◎ 彼岸花の際の案内所開設 (伊勢原市観光協会と協働) ◎ 伊勢原市市民提案型協働事業 (平成28年度～令和元年度) ◎ 子ども対象の体験活動 ① 茶道を英語で体験 ② 自然の草花で押し花体験	
連 絡 担 当 者	氏名	岩田 美佐子
	所属	NPO法人生活文化ルネッサンス 事務局
	電話	[REDACTED]
	FAX	[REDACTED]
	e-mail	lc.renaissance1@gmail.com

第3号様式（第6条関係）

協働事業実施計画書

協働事業名	日向・里地里山づくりプロジェクト —花でつなぐ人と人—
事業の目的	地域の活性化を目的として、田畑に花を植えて景観を美しくするとともに人との交流による花でつながる街づくりを推進する。 1. 地域資源の有効活用 —未利用農地の活用 2. 地域の環境美化 —地域の魅力づくり 3. 協働事業の推進 —住民・企業・行政・大学との交流
事業内容	昨年度に引き続き、未利用農地を利用し、花の植栽を行う。 1. 畑に花の種まきや苗の植え付けを実施する。 2. 開花時の観賞・花摘みのアナウンスを行う（市広報 他） 3. 彼岸花の時期にイベントを実施する。 ・1坪ガーデニングコンテスト（拡充） ・飲食の販売、地域野菜等の販売 ・ワークショップ（蔓で籠づくり、ハーブで作品づくり） ・ハーブ茶の提供
スケジュール	2020年4月上旬 ハーブ苗の植付（拡充） 5月30日（土）～ } コスモスの種まき 6月上旬 } （地域の皆様と共に） 6月上旬～ 桔梗開花案内 ※草取りは月2～3回（週・曜日を設定）実施 9月中下旬 6日間 彼岸花の際の案内所対応 9月中下旬の1日 ガーデニングコンテスト開催 9月上旬～10月上旬 コスモス開花案内 菊開花案内 10月下旬 コスモスの種採取および土地の整備 11月上旬 菜の花種まき（もしくは他の花植付） 2021年 3月中旬 菜の花（もしくは他の花）開花案内
協働の効果	① 地域住民の交流を促進し、地域の課題（農業の充実、未利用農地の活用等）に取り組むことから、地域の活性化が期待できる。 ② 地域の景観づくりにより、誘客効果に寄与し観光振興につながるこのことから、本法人の目的でもある「地域社会と住民の相互関係、地域と学童の結びつき、家族の絆の強化の支援等、地域社会の活性化と地域振興に寄与する」効果が得られる。
役割分担	(市民活動団体の役割) 農地の整備、作付け後肥培管理。種苗の調達。 イベントの運営（1坪ガーデニングコンテスト 飲食の販売等）他 (市の役割) 1. 広報 2. 種苗等の購入経費、およびイベントの際の費用等の補助 3. 捨て看板等案内板の作製 4. イベントの際のテント、机、椅子等の貸与

第4号様式（第6条関係）

協働事業収支予算書

協働事業名	日向・里地里山づくりプロジェクト —花でつなぐ人と人—
団体名	NPO法人 生活文化ルネッサンス

収入の部

区分	見積額(円)	積算根拠(数量、単価等)
市補助金	50,000	市民提案型協働事業採択見込みとして
主催者負担金	80,500	借入金若しくは自己負担金
収入合計額	130,500	

支出の部

区分	見積額(円)	積算根拠(数量、単価等)
花の種	20,000	花種
花の苗	20,000	ハーブ苗・花苗
花の苗(コンテスト用)		1坪ガーデニング用花の苗(参加者自己負担)
イベント用費用	10,000	コンテスト商品、ワークショップ開催費用
飲み物代	24,000	@100×10人×24日(種まき及び苗の植付)
昼食代	43,200	@432×10人×10日(種まき及び草取り)
軍手等(参加者分)	3,300	@110×30人
消耗品費	5,000	
事務費	5,000	通信事務費、関係箇所への連絡、調整
支出合計額	130,500	

「日向・里地里山づくりプロジェクト ー花でつなぐ人と人ー」
実施に関する協働事業協定書

伊勢原市（以下「市」といいます。）とNPO法人生活文化ルネッサンス（以下「団体」といいます。）は、「日向・里地里山づくりプロジェクト ー花でつなぐ人と人ー」（以下「事業」といいます。）の実施に関し、次のとおり協働事業の協定を締結します。

1 事業の目的

未耕作であった畑地に花を植えて景観を美しくするとともに、人との交流による花でつながる街づくりを推進することで、本市の観光振興の発展並びに地域の活性化を図る。

2 協定の目的

本協定は、事業の実施にあたり、市と団体との間の関係や役割分担、相互協力の内容などを定めるものです。

3 協働に関する原則

市と団体とは、協働の精神に基づいて、お互いに次の原則を遵守します。

- (1) お互いが対等かつ協力的な関係を保つよう心がけます。
- (2) お互いの立場を理解・尊重し、自由に意見を交換できる関係をつくります。
- (3) お互いの活動を理解し、その主体性・自主性を尊重します。
- (4) 個人情報保護に考慮しながら、協働の過程や結果等の情報を公開し、市民の理解を得るように努めます。
- (5) 多様な市民の意見を集め、中立性・公平性を担保します。
- (6) 一定の時期に事業の効果を検証・評価し、改善を行うとともに、事業の継続の可否についても検討します。

4 役割と責務

(1) 市の役割と責務

ア 情報提供

市は、団体に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

- i 市広報などによる事業周知を行います。
- ii 事業の施行に必要な種苗等の購入経費の一部補助を行います。
- iii 捨て看板等案内板の作成を行います。
- iv イベントを行う際、テント、机、椅子等の物品貸与を行います。
- v 団体と産業能率大学学生が共同して行う史跡・景観等マップ作製に対して活動支援を行います。
- vi 本事業開催にあたって、助言やアドバイスを行います。

ウ 報告書に関すること。

市は、団体が作成した報告書等の内容を真摯に検討し、市政に生かすよう努めます。

(2) 団体の役割と責務

ア 情報提供

団体は、市に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

- イ 分担業務
 - i 事業の目的を達成するため、事業を総括します。
 - ii 事業開催のための他団体との連絡・調整を行います。
 - iii 農地所有者との契約、農地の整備、作付け後の肥培管理及び種苗の調達を行います。
 - iv その他、イベント運営等事業開催に関わる全てを行います。
 - ウ 経費の負担
団体は、市負担金を差し引いた経費を負担します。
 - エ 情報公開
団体は、事業実施の経過・内容・成果などについて、より多くの市民の目に触れるように広く一般に情報公開や情報提供をします。
 - オ 個人情報の保護
団体は、事業を実施する上で知り得た情報のうち、プライバシーに関するものなどについては、市の個人情報保護条例に基づいて個人情報の保護を行います。
- 5 相互の連絡調整
市と団体は、相互の連絡調整を円滑に行うため、適宜、連絡調整会議等を開催して協議します。
- 6 協定の有効期限
本協定の有効期限は、令和3年3月31日までとします。
- 7 報告書の提出
団体は、事業終了後60日以内に市に対し事業完了報告書を提出するものとします。
- 8 事業の評価等
市と団体は、事業の実施後に事業の評価を行います。
- 9 その他
本協定に定めのない事項で、事業を実施する上で必要と認められるものについては、市と団体が協議して定めるものとします。

令和2年 6月 5日

(市)

伊勢原市田中348番地

伊勢原市長 高山 松太郎

(団体)

伊勢原市日向450-2

NPO法人生活文化ルネッサンス

理事長 原田 雅頭